

情勢報告

活発な意見交換が見られます！ ～「土佐あき新施設園芸システム勉強会」の開催～



最新の環境制御機器を導入したハウスを熱心に観察する生産者

11月15日に生産者23人が参加して「第2回土佐あき新施設園芸システム勉強会」が開催され、現地検討会（ナス、ピーマンの計3ほ場）及び情報交換会が行われました。

農業改良普及課は、新施設園芸技術実証普及事業の実証ほにおける10月末までの収量等の報告、今後の環境制御技術に関する研修会の案内を行いました。また、全農高知県本部からは、安芸市に建設中の営農実証支援施設「ゆめファーム全農NEXTこうち」における今後の取組説明と天敵実証試験の結果報告が行われ、日射比例かん水の設定値、炭酸ガス施用時期や濃度、今後の管理などについて質問や意見が交わされ、活発な勉強会となりました。

農業改良普及課は、生産者同士が意見交換出来るよう土佐あき新施設園芸システム勉強会を支援していきます。

中芸地区環境制御技術研究会が現地検討会と勉強会を開催



現地ほ場で炭酸ガス施用装置の設定を実習

10月26日に中芸地区環境制御技術研究会が現地検討会と栽培講習会を開催し、延べ22人の参加がありました。参加者はお互いの導入機種の特徴や設定、ダクトの設置方法等を熱心に情報交換していました。

農業改良普及課は炭酸ガス施用の必要性、吹き飛ばし式施用と局所施用での炭酸ガスの拡散の違い及び施用量の把握方法、環境測定装置の活用方法や日射比例かん水について講習しました。また、JAは次年度に向けて環境制御技術普及促進事業を周知しました。

農業改良普及課は、今後も現地検討会での実習や講習会等で情報提供して環境制御技術を普及していきます。

ナス黒枯病にご注意を！ ～芸東集出荷場営農相談日を開催～



防除体系を参考にしてくださいね！

10月26日、農業改良普及課室戸支所は、芸東集出荷場でナス生産者を対象に「営農相談日」を開催しました。

室戸支所は、出荷に来る生産者42人に対し、昨年多くのほ場で発生した黒枯病の防除方法について改めて情報提供し、「ナスの主要病害防除体系」の拡大・ラミネート加工版を配布しました。その結果生産者から「この防除体系は字が大きくて見やすい、ビニールハウスに置いて薬剤を選ぶときに活用させてもらおう」と好評で、黒枯病対策への意識も高めることができました。

室戸支所は今後も、定期的に営農相談日を開催し、病虫害防除や栽培管理技術について情報提供することで生産者の栽培技術向上を支援します。

情勢報告

薬剤散布の質を高めよう！ ～芸西ナス部会で勉強会を開催～



葉裏への薬液付着量を向上させる
ための散布動作を学ぶ生産者
（実演には水を散布しました）

11月9日、農業改良普及課による防除の質を高めることを目的に、農業改良普及課の提案で実現した「農業散布勉強会」が、JA土佐あき芸西集出荷場ナス部会を対象に開催され、生産者23人、関係機関5人の計28人が参加しました。

農業改良普及課は勉強会の冒頭で、現在の病虫害発生状況を報告し、防除暦を活用した防除の実施を呼びかけました。

講師の奈良県病虫害防除所の國本所長には、講演と併せて葉裏への薬液付着量を向上させるための散布の実演と参加者への散布動作の指導をしていただきました。

今回は、意識することが少なかった散布テクニックについて話し合う良い機会となり、散布時の動噴圧力や噴口の種類、散布動作について活発な意見交換が行われました。

今後も農業改良普及課は、JA、関係機関と連携し、病虫害の対策について情報提供します。

防ごう、異物混入！ ～集出荷場衛生（GAP）巡回を開催～



集出荷場をチェックする普及指導員ら

11月15日、農業改良普及課は、JA、園芸連と合同で平成29園芸年度1回目の管内の集出荷場衛生巡回を実施しました。本園芸年度から、従来の野菜8集出荷場に新たにユズ2集出荷場を加え、10集出荷場を巡回しました。

平成20年度から取り組んでいる同巡回では、集出荷場での異物混入の防止を目的として、集出荷場の管理状況や環境、作業員の服装等をチェックして責任者に報告し、改善を呼びかけています。

農業改良普及課は、定期的に集出荷場衛生巡回を行い、その結果を本部運営委員会で共有し、問題点を改善していきます。

いよいよ栽培開始！ ～加工用ワサビ栽培勉強会を開催～



定植後初期の栽培管理について
熱心に意見交換する生産者

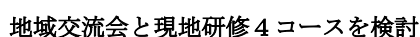
11月11日にJA土佐あき中芸支部開発部会が加工用ワサビの栽培勉強会を開催し、生産者4人の参加がありました。

農業改良普及課は11月下旬の定植に向け、生育初期～中期における栽培管理のポイントとなる植付け方法やかん水、温度管理について講習しました。園芸連からは他産地での栽培管理の状況について紹介がありました。

生産者からは、かん水チューブの敷設方法や病虫害防除など具体的な質問が多く出され、今後はお互いで学びあうために月一回程度の現地検討会を開催することとなりました。

農業改良普及課は、今後も現地検討会や勉強会等で情報提供して、多収、安定生産に向けて支援していきます。

農業担い手サミット in こうち芸東・中芸地域実行委員会を開催



同委員会と農業改良普及課は今後、本年の岐阜大会も参考にして、さらに内容を充実させるとともに、地域全体の盛り上がりにつなげ、来年の本大会の成功に向けて取り組んでいきます。

意見交換会の様子

農業改良普及課は、今回出された意見も踏まえて、各組織が目指す方向へステップアップしていけるよう、関係機関と連携して支援します。

アフタヌーンティーセットを試食

今後、農業改良普及課は、アフタヌーンティーセットやマンゴーサンドの磨き上げを支援していきます。